

# 「内沼映二からの伝言」

～ 音楽感動を伝える感性・技術への探掘 ～



この度JAPRS(日本音楽スタジオ協会)主催によるセミナー・トークイベントを開催いたします。講師には昭和、平成、令和と数多くの現場で第一線を走り続けるレコーディングエンジニア内沼映二氏をお迎えし、エンジニアとしてのキャリア形成、現場で求められる視点や技術、そしてこれからの中音楽制作の未来について語っていただきます。

本イベントは、若手レコーディングエンジニアの皆様、ならびに将来レコーディングエンジニアを目指す学生の方々を主な対象とし、現場で培われたリアルな経験や、今だからこそ伝えたいメッセージを直接聞ける貴重な機会となります。業界を志す方、現場でのステップアップを目指す方にとって、今後の指針となるヒントを得られる内容です。

是非この機会にご参加ください。

エンジニアの皆様、エンジニアを目指している皆様へ

音楽制作における良い音、音楽感動を伝える音創りとは何でしょうか。それぞれの感性でしか判断できない音の世界ですが、私なりに音創りへの感性・技術をお伝えする、トークイベントを行います。

皆様の「エンジニアへの道しるべ」となる事を願っております。

2026年5月吉日 レコーディング・エンジニア 内沼映二

## 内沼映二 プロフィール

株式会社ミキサーズラボ 名誉会長、レコーディングエンジニア

1944年生まれ。レコード会社「ティチク興業(株)」「日本ビクター(株)／RVC」の録音部を経て1979年、日音スタジオを本拠地として、レコーディングエンジニアの集団である(株)ミキサーズラボを設立。1990年に自社運営スタジオとして「ウエストサイド」を設立。続いて「ワーナーミュージック・レコーディングスタジオ(現ラボレコーダーズ)」、CDマスタリング & DVDオーサリングセクションとして「ワーナーミュージック・マスタリング」を設立し現在に至る。レコーディングエンジニアとして最新技術に積極的に取り組み、ステレオからサラウンドの録音制作に至る50年以上のキャリアを有し、ジャンルを問わず多くのアーティストのレコーディングに参加。1994年から98年、2007年から2015年まで通算12年間、一般社団法人日本音楽スタジオ協会会长を務め、業界の発展と録音技術者の育成に尽力している。1994年「新日本紀行 富田勲の音楽”新平家物語”」の制作で第1回日本プロ音楽録音賞の優秀賞を受賞。その後、数々の最優秀賞を受賞。2023年石川さゆり「TRANSCEND/ウイスキーが、お好きでしょ」にてアナログ・ディスク部門最優秀賞。2006年よりBIGBANDシリーズ5作品(CD)をプロデュース、2016年より自社レーベル「MIXER'S LAB SOUND SERIES」を立ち上げ、現在までにアナログ・ディスク4枚をプロデュースし発売している。2025年5月「MIXERS' LAB SOUND SERIES Vol.4 / 小さな花」にて第1回MUSIC AWARDS JAPAN「グランプリエンジニア賞」受賞。

## 進行役 高田英男



1951年 福島県生まれ  
1969年 日本ビクター(ピクタースタジオ)入社  
　　録音エンジニア業務に従事  
2001年 ピクタースタジオ長  
2012年 サウンドプロデューサーに就任  
2016年 ミキサーズラボ顧問

【日時】2026年5月2日(土) 14:00 開場/14:30 開演

【会場】東京ウィメンズプラザ ホール

〒150-0001  
東京都渋谷区神宮前5-53-67  
東京ウィメンズプラザ B1

【入場料】2,000円 / 学生・未成年 無料 【参加お申し込みフォーム】

(学生証・身分証をご提示ください)

<https://forms.gle/1HFRYimyHroozGG6>



【主催】一般社団法人 日本音楽スタジオ協会 JAPRS